

JAFA ウェブサイト限定企画

東京フォーラム直前 特報！

フレッド・ホフマン スペシャルインタビュー

「アメリカとヨーロッパのフィットネス事情」

※このインタビューは、『ヘルスネットワーク』2012 年 1 月号 p 12～13 の続きです。『ヘルスネットワーク』と併せてお楽しみください。



Hred Hoffman (フレッド・ホフマン)

健康教育学修士、Batuka 国際教育開発ディレクター。6 大陸 50 カ国において、コンベンションでのプレゼンターや、インストラクタートレーニングコースの指導にあたる。2007 年 IDEA フィットネスインストラクターオブザイヤーを受賞。東京フォーラムへは、2002 年以来 10 年ぶりの登場となる。

Q 1 : フランス在住の理由は何ですか？

A 1 : 1986 年に、数人の友人と 5 ヶ月くらいパリのアパートを借りたんだ。バケーションのようなものさ。パリに着いてすぐ、とても人気のあるヘルスクラブでクラスを教え始め、評判も良かった。そのうち施設のボスから「もっと教えないか？」と言われ、数年の間ボ

ストンとパリを行ったり来たりする生活になった。結局 1989 年に、自分の心の赴くまま、大好きな街パリに移住することにしたんだ。最初の 1 年は、精神的にも経済的にも大変だったけど、翌 1990 年に、ヨーロッパでのステップリーボック普及のためマスタートレーナーを探していたジン・ミラーとピーター・フランシス博士のオーディションを受け、フランスでステップリーボックのマスタートレーナーになれたのさ。

皆知っているように、ステップリーボックは大成功を収め、その関連でフランスでも外国でもたくさん仕事の機会が増えた。後に、リーボックグローバルマスタートレーナーに就任し、さらにリーボック・フランスのフィットネスコンサルタントにもなった。信用も高まり、自分自身の名前とブランドで仕事をするようになって、特に計画したわけではないけれども、パリでの生活が続いたんだ。その結果、フランス在住 23 年にもなったよ。

フランスに恋したって感じかな。文化にも順応したし、言葉はもちろん、フランス人の考え方もよく理解できる。4 年前にはフランス国籍を取得したから、今ではれっきとしたフランス人さ！ ただ、アメリカ国籍もまだ持っているんで、二つの国のいいところ取りができるかな？

Q2：アメリカとヨーロッパの違いは何ですか？ インストラクターはどのように違いますか？

A2：ヨーロッパでの生活も長くなり、ヨーロッパ中で仕事をしてきたので、アメリカとヨーロッパの指導者の類似点や相違点については知っているつもり。相違点は、文化的背景によるものが多いね。フィットネスやウェルネス、健康を指導する指導者は、皆、生徒達と経験を分かち合いたいと思い、フィットネスを楽しく効果あるものにして、生徒たちに教えたいと思っているところは共通だね。

違いはむしろ、受けた教育の手法、指導方法や生徒達との交流の仕方に見られると思う。そして、ヨーロッパをひとくくりにすることも間違いさ。これだけ多様な文化が混在しているのだから、前出の交流手法など、寒い北部地域と暖かい南部などの地域性や、ドイツ圏とラテン圏などの伝統と文化の違い、また共産圏が民主主義に変わる等の歴史と政治的背景によっても違ってくる。このようないろいろな違いが、ヨーロッパの国々の違いとして、またアメリカとの違いとして顕在化するようだ。

インターネットの普及と、移動がより便利になってきたことで、指導者が容易に情報を入手できるようになったね。インストラクターは皆、最新の調査研究を確認し、商品やプログラムについて知ることができる。その結果、フィットネスにもグローバル化が起こり、明らかな違いが見えにくくなっているとも思うよ。

翻訳：鶴見幸子